

令和8年度 第2回平生町地域公共交通協議会 次第

令和8年7月28日（火） 午後2時～
平生町役場 2号棟3階大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項

（1）平生町公共ライドシェア（道路運送法第78条第2号に基づく交通空白地有償運送）実証運行事業の実施に係る協議について

（2）その他

平生町 地域公共交通協議会

公共ライドシェア実証運行 実施に向けた申請内容のご説明

— 令和8年（2026年）7月28日 —

本日の進行

1. 本協議会の議題・目的・承認事項

2. 資料① 公共ライドシェア実証運行の概要（平生町様より）

P1～6

- 公共ライドシェア実証運行の目的
- 実証運行の概要（期間・エリア・対象者）
- 実施体制
- パブリックテクノロジーズのご紹介・類似業務実績

3. 資料② 公共ライドシェア制度および実証運行の詳細（パブリックテクノロジーズより）

P7～14

- 公共ライドシェア制度の概要
- 実証運行の内容（運行概要・予約方法・運送の区域・旅客の範囲・運賃設定・ドライバー報酬）
- 実施スケジュール

4. 質疑応答

5. 承認動議

平生町 地域公共交通協議会 公共ライドシェア実証運行の概要

2026年7月28日

公共ライドシェア実証運行の目的

日常移動の確保 通院や買い物など、日々の移動をしっかり支えます

持続可能な仕組み 住民ドライバーとAIの活用により、効率的で長く続く交通モデルを検証します

来訪者の利便性向上 町を訪れる観光客等も利用でき、町の賑わい創出をめざします

1

課題①

交通空白地域の存在 への対応
交通空白地域の移動確保

住民ドライバーによる公共ライドシェアを導入。ボランティア輸送を制度化し、目標ドライバー40名を確保。ドアツードア・全域運行で外出抑制を解消。

2

課題②

担い手・運転士不足 への対応
担い手確保と通学支援

前日予約＋手上げ式でドライバーが参画しやすい設計（マッチング率より参加しやすさ優先）。田布施駅・高校方面も運行区域に含め、学生の通学手段を確保。

3

課題③

公共交通の持続可能性 への対応
持続可能な交通モデル構築

既存事業者との役割分担を明確化（行きはライドシェア・帰りはタクシー等）。実証データに基づき本格運行モデルを設計。

手上げ式採用の理由

1. 前日予約のみ受付→ドライバーが当日を自由に使うことができ負担軽減を実現
2. 当日の配車要望はタクシー事業者へお願いすることで役割分担を行う。

実証運行の概要（期間、エリア、対象者）



1. 「楽シー」とは？

町が許可・登録した住民ドライバー（※）が、自家用車を活用して皆様を目的地まで送迎する、地域で支えあう公的な交通サービスです。

楽（らく） ドアツードア（自宅から目的地）で移動が楽に！スマホや電話で予約も楽々。

楽しー（Fun） お買い物や通院、お出かけがもっと楽しくアクティブに。

3つのC（シー）

1. Convenience（便利）：行きたい時に、家の前からすぐ乗れる。
2. Connection（つながり）：人と場所、人と人を結び、地域の活力をつくる。
3. Comfort（安心・快適）：町の審査を通った地域の方の運転で、安心して移動できる。

《住民ドライバーについて》

「楽シー」を支えるのは、公募により選ばれた地域の住民ドライバーです。

- ・ 厳格な審査と安全講習： 二種免許は不要ですが、町が運転歴や保険を確認し、講習を修了した方のみを登録します。
- ・ 責任ある「有償運送」： ボランティアではなく、適切な運賃をいただく公共サービスとして、責任を持って目的地までお届けします。
- ・ 安全な運行サポート： プロの運行管理者がAIシステムで走行状況を管理します。

運行日・運行時間

- 令和8年10月～令和9年1月末日
※令和9年2月～3月は移行期間として継続予定

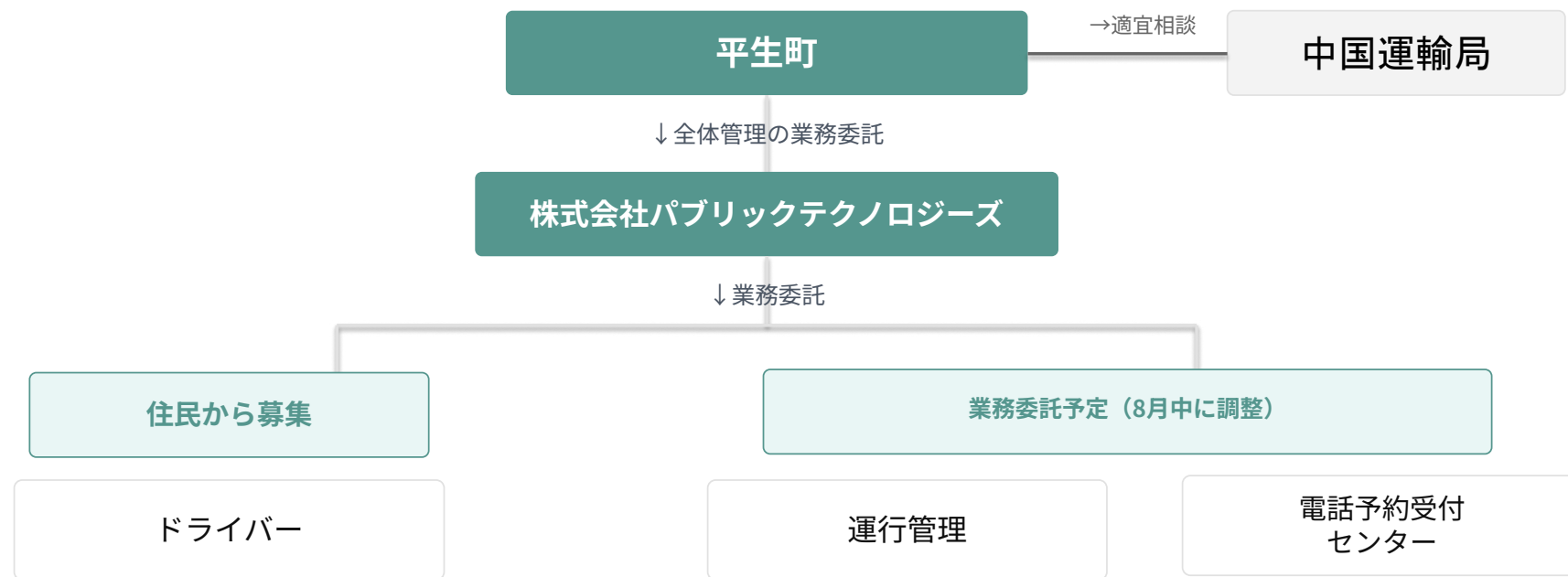
運行エリア

- 平生町全域（平生町内と隣接市町の往来にかかる町外の公共交通結節点等の乗降ポイント（JR駅、バス停、タクシー乗り場がある場所）については 柳井市：（柳井駅、周東総合病院、ゆめタウン柳井）、田布施町：（田布施駅）、上関町：（道の駅上関海峡））に限る。）

利用対象者

- 地域住民（平生町民）、観光旅客その他の当該地域を来訪する者
※運送しようとする旅客の範囲

実施体制



【ドライバーについて】

- ・ 募集対象：平生町内に在住または在勤の方（21歳以上75歳未満＋高齢者は適正確認を行った方）
- ・ 使用車両：ドライバー自身が所有・使用する自家用車（自家用有償旅客運送として登録）
- ・ 大臣認定講習（交通空白地有償運送運転者講習）の受講後、運輸局へ届出

業務委託先：株式会社パブリックテクノロジーズのご紹介



会社名	株式会社パブリックテクノロジーズ
設立	2020年5月
メンバー	50名(業務委託含む)
所在地	東京都中央区日本橋本町3-8-4 日本橋ライフサイエンスビルディング4 9F
事業内容	GovTech事業の運営

一気通貫の支援

計画
構想

事前調査

現状の交通課題の分析



住民の移動実態や交通手段の利用状況を調査・可視化し、地域ごとの課題を整理

実証実験

実証実験の設計支援



スケジュールや対象地域、検証項目を自治体と一緒に検討し、実証実験の準備を支援

本格運行

本格運行の設計支援



実証実験の結果を踏まえて、適切な形で本格運行が可能

データ分析



アンケート・GPSログ・既存統計等の多様なデータを用いた分析を通じて施策立案をご支援

関係者との調整



交通事業者・地域住民等多様なステークホルダーとの合意形成を現地で実施

システムの導入・運用



住民アプリ、運行管理のシステムの開発・導入から操作支援までをご支援

現場へのヒアリング



住民・交通事業者・関係団体等の声を丁寧に拾い、現場起点での方針立案をご支援

広報など



住民説明会、チラシの作成、Web広報等を通じて、住民理解と協力を促進

現場対応



現場のトラブル対応等、新しい交通が住民の生活に滑らかに溶け込むためのあらゆる支援を実施

実装
運用

パブリックテクノロジーズの類似業務実績

弊社は全国各地で本実証運行と同様の公共ライドシェア・AIデマンド交通導入の実績を有しており、**高い導入効果を実現しています**

◆弊社実績の代表例

自治体名	サービス名	運営開始	運行形態	導入後効果
石川県 小松市	小松市ライドシェア 「i-chan」	2024年 3月	区域運行 (非乗合型)	- 運行開始後約1年間で、ライドシェア利用者数約1,400人を達成 - 日本初の公共ライドシェア事例として、全国から視察多数
千葉県 香取市	香取市デマンド交通 「かとくる」	2024年 10月	区域＋路線不 定期運行 (乗合型)	- 運行開始後約半年で予約数約6,000件を達成 高いリピート率を実現（79.6%）
鹿児島県 宇検村	宇検村 やけうちライド	2025年 10月	区域運行 (乗合型)	住民の「助け合い」文化を丁寧に仕組み化することでドライバー40名以上を達成
宮城県 富谷市	とみや 公共ライドシェア	2025年 11月	区域運行 (非乗合型)	14日間で利用者数934人（1日平均11.4人）を達成 「『交通空白』解消緊急対策事業ピックアップ事例」に採択
長野県 御代田市	御代田町 公共ライドシェア	2025年 12月	区域運行 (乗合型)	利便性の高い制度設計にすることで、多様な属性の住民（高齢者・障害をお持ちの方・学生）の日常の足として定着



平生町 地域公共交通協議会 公共ライドシェア制度および実証運行の詳細

公共ライドシェア制度の概要（公共ライドシェア ハンドブックより）

国土交通省 自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）ハンドブック

公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）とは

バス・タクシー事業者による輸送サービスの提供が困難な場合に、地域の関係者による協議を経た上で、道路運送法の登録を受け、必要な安全上の措置が講じられた「自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）」を活用する制度です。（道路運送法第78条第2号）

今回の平生町での制度的位置づけ

- ・種別：交通空白地有償運送（道路運送法第78条第2号）
- ・登録申請先：中国運輸局（山口運輸支局）
- ・実施主体：平生町
- ・運行委託先：株式会社パブリックテクノロジーズ（全体管理）、町内交通事業者（運行管理・調整中）

本制度の重要ポイント

- ・旅客から収受する対価は実費の範囲内（ガソリン代・道路通行料・駐車場料金のほか、人件費・事務所経費等の営利を目的としない妥当な範囲）
- ・住民ドライバーは2種免許不要。大臣認定講習を修了し、運輸局への届出が必要
- ・地域公共交通協議会での承認が登録申請の前提条件

実証運行の内容（運行概要）

運行日・運行時間

- 令和8年10月～令和9年1月末日
※令和9年2月～3月は移行期間として継続予定

運行時間

- 午前8時～午後8時（月曜～日曜・祝日運行※）
※年末年始(12月29日から1月3日まで)を除く

運賃設定の考え方

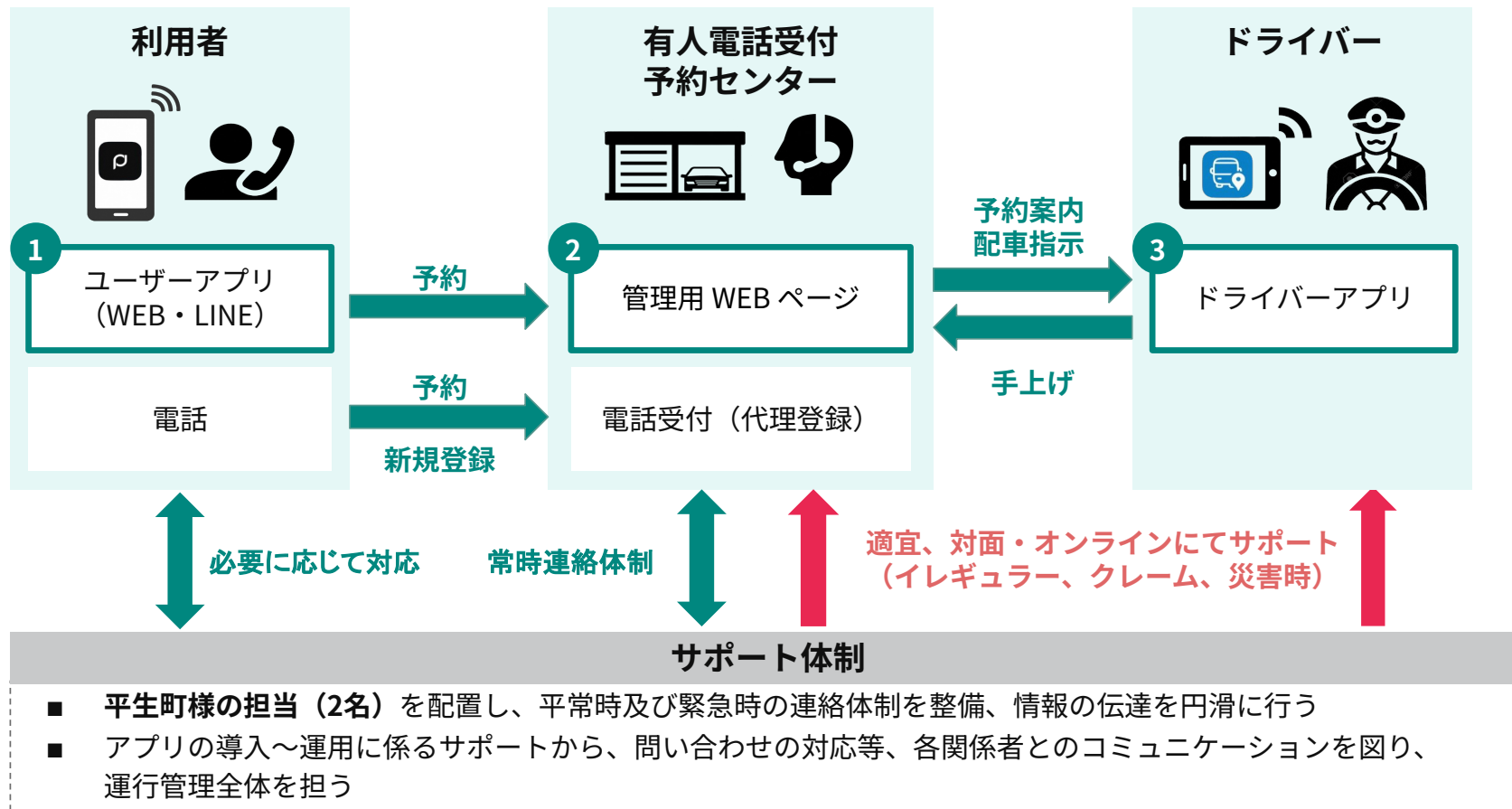
項目	提案案
町内運賃	500円(一律)
町外運賃	1,000円
シフト手当(4・6時間共通)	2,000円(稼働日に支払い・上限 2名/シフト)
運賃のドライバー配分	100%(シフト手当に全額上乘せ)

実証運行の内容（予約方法）

公共ライドシェア 予約・配車の流れ



予約受付・配車指示・運行管理実施フロー



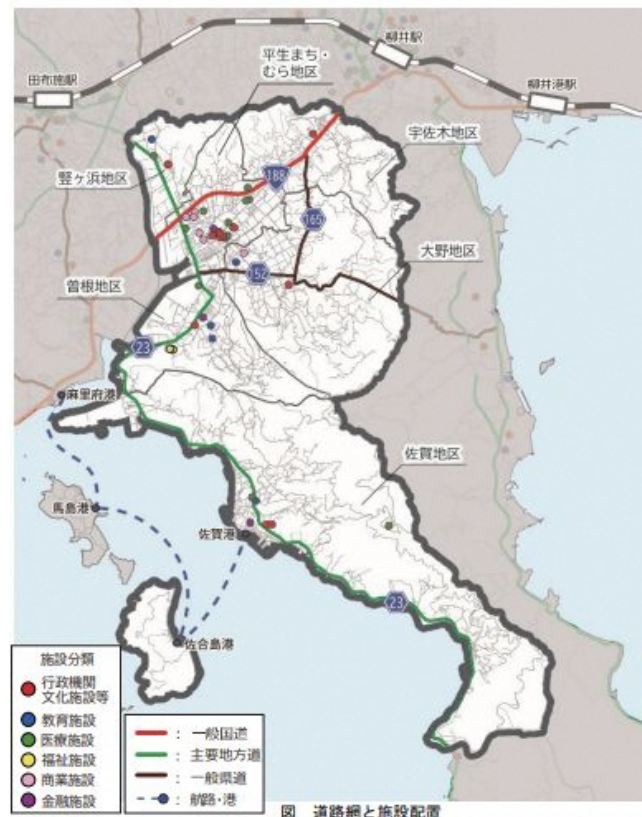
実証運行の内容（運送の区域、旅客の範囲）

運行エリア

- 平生町全域
 - 平生町内と隣接市町の往来にかかる町外の公共交通結節点等の乗降ポイント（JR駅、バス停、タクシー乗り場がある場所）については、下記に限る
 - 柳井市：（柳井駅、周東総合病院、ゆめタウン柳井）
 - 田布施町：（田布施駅）
 - 上関町：（道の駅上関海峡）

利用対象者

- 地域住民（平生町民）、観光旅客その他の当該地域を来訪する者
※運送しようとする旅客の範囲



出典：平生町 HP、山口県社会福祉協議会、金融機関・銀行検索他

実証運行の内容（運賃設定、ドライバー報酬）

ドライバー報酬（案）

基本方針

運賃（1乗車分）の100%をドライバーへ支払う + シフト手当
シフト手当は予約の有無に関わらず支払う。

山口県最低賃金: 1,043円 / 時（令和7年10月16日～）

シフト区分・手当

シフト区分	時間帯	シフト手当(案)	1シフトの人数
4時間シフトの場合(○)	8:00～12:00 / 12:00～16:00 / 16:00～20:00	2,000円	2名まで
6時間シフトの場合	8:00～14:00 / 14:00～20:00	2,000円	3名まで

実証運行の内容（運賃設定、ドライバー報酬）

基本方針収入試算(参考)

乗車件数	シフト手当	運賃収入	合計
0件(予約なし)	2,000円	0円	2,000円
2件(500円×2・町内)	2,000円	1,000円	3,000円
4件(500円×4・町内)	2,000円	2,000円	4,000円
2件(1,000円×2・町外)	2,000円	2,000円	4,000円
町内2件+町外1件	2,000円	2,000円	4,000円

他事例との比較

項目	小松市	御代田町	平生町 提案案
シフト手当 (4・6時間共通)	夜間22時以降:500円/件 待機手当:運賃報酬控除後 4H以上:1,000円 7H以上:1,500円	4H以上:2,000円 8H以上:4000円	2,000円/シフト
運賃配分	70%	80%	100%
運賃	距離制 平均1,720円/件	町内のみ 一律400円	町内500円 町外1000円
燃料費の手当	15円/km	51円/km	無し
稼働ドライバー上限	2-3名/シフト (人数制限なし)	基本2名/シフト (人数制限なし)	最大2-3名/シフト
運行無しの場合の ドライバー報酬	最大1500円	最大4000円	最大4000円

実施スケジュール

実施内容	令和8年						令和9年	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
運行概要の確定	7/28							
システム構築			9月中					
運輸局への申請		8月中						
広報チラシの配布		8/7～						
住民説明会①②③		①8/18	②9/28か9/29	③10/15				
ドライバー募集期間		8/7-8/21						
面接期間		8/24-27						
ドライバー選定・確定			確定9/4					
業務委託契約締結			10月運行までに締結					
大臣認定講習			9/14					
ドライバー研修①(オンライン)			9/24か9/25					
ドライバー研修②(アプリ操作研修)			9/28					
出発式				10/1				
実証運行期間				10/1			1/31	
実績報告								2月中旬